

学校だより

3月号

やさしい子 たくましい子 考える子



# 黒門

発行日 令和8年2月27日  
発行者 台東区立黒門小学校  
校長 飯塚 雅之

一日一日を大切に前へ進んでいく

副校長 松崎 かおり

先日、ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピックが閉会しました。前回の北京オリンピックで金メダルに輝いた平野歩夢選手がスノーボード男子ハーフパイプに出場しました。今大会1ヶ月前、スイスで開催されたワールドカップで転倒し、複数箇所を骨折し出場が危ぶまれる程でしたが痛みを耐えながら挑みました。最高難度の技を、連続で入れた攻めの構成で2回目のランでは着地し、3回目のランではより高難度の技に挑戦しましたが惜しくも転倒してしまいました。得点は伸びずオリンピック連覇は逃してしまいましたが、「結果よりも諦めずに挑戦する姿勢」に強く胸を打たれました。また、自分の競技後に後輩選手が超高難度の技に果敢に挑戦するのを笑顔で見守る平野選手に懐の深さを感じました。



競技後のインタビューでは、「今回の経験を力に変えて、さらに強くなって戻ってこられるよう、一日一日を大切に前にすすんでいきます。」と述べていました。その言葉から、結果だけに捉われるだけでなく、経験を未来の力に変え、日々の積み重ねを大切にしていくことが大事なことなのだと思います。学校生活でも思い通りにいかないことや、悔しい思いをする場面があります。しかし、その体験こそが子供たちの心を鍛え、次の挑戦への意欲につながります。大切なのは、「うまくいかなかった時にどうするのか」。平野選手のように経験を力に変える姿勢を身に付けてほしいと願っております。

今年度も残すところわずかとなりました。子供たちが一日一日を大切にし、次の学年・次のステージへと自信をもって進んでいけるよう、丁寧に指導してまいります。



今年度の卒業式は、3月24日(火)に挙行いたします。63名の児童がこの黒門小学校を巣立っていきます。卒業生の皆さん、新しい環境では、うまくいかない経験も、悔しさも、全てを「力」に変えることができます。そして、そのために必要なのは特別な能力ではなく、「一日一日を大切に作る心」です。大丈夫！みなさんならできるはずです。皆さんの輝く未来に栄光あれ！！